

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 好日苑 徳力の郷

作成日: 平成 29 年 12 月 14 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	開設8ヶ月になるが、会議のメンバーを増員し、会議が今以上に充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や地域で活動している有識者、知見者、薬剤師等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけではなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	面会の多い家族と遠方で面会が少ない家族がおられるので、ホームとの関係にも差があり、利用者の情報提供も温度差があるので、家族全員が利用者の近況や健康状態等が詳細に理解できる体制を整えていく。	利用者をホームと家族で支え合い、協力し合うことが利用者の幸せに繋がると捉え、家族間の交流と家族とホームとの信頼関係を築き、何でも話し合える関係を構築していく。また、独自の事業所だよりを検討して行く。	24ヶ月
3	11	運営に関する職員意見の反映	定期的に職員の面談を行って意見や提案を聴く機会を設けているが、職員の意見を統一するため、定期的に職員会議の開催に取り組んでいく。	職員会議の開催時間を検討し、職員が意見や要望を表出できる機会を設け、職員同士のチームワークやサービスの向上に繋げていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。